

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第2回介護保険運営協議会
開 催 日 時	平成31年1月10日（木）10時00分～10時50分
開 催 場 所	市民交流棟2階 会議室1
公開又は非公開の別	公開
出 席 者 氏 名	<委員> 高木恭也、矢野強 村上義弘、森茂、石村政也、佐々木一行 田邊富久江、石川能婦子、鈴木晴喜 神田達郎、天高剛、伊藤律子、篠原弘之、加地健 福田泉、川上みどり、山口佐人 <事務局> 福祉部長 加地宣幸 高齢介護課長 大西 緑 包括支援センター長 則友紀子 高橋芳清 佐々木奈美 高橋和真 大石美鈴 井上照久
傍 聴 人 数	なし
議題及び会議の概要	下記のとおり

会議次第

1. 開会 2. 福祉部長挨拶 3. 会長挨拶 4. 協議事項 (1) 第7期介護保険事業計画における施設等基盤整備について ①応募状況の報告 ②開設予定事業者の選考方法及び選考スケジュールについて ③応募がなかった施設に係る今後の取扱いについて (2) その他 5. その他 6. 閉会
議題1 第7期介護保険事業計画における施設等基盤整備について ①応募状況の報告

事務局より説明

1) 介護老人福祉施設（入所定員30人以上の特別養護老人ホーム）

【募集内容】

整備量：多床室60床（一部従来型個室可）

整備形態：新設、増床、転換いずれも可

開設予定年度：平成31年度～平成32年度

【応募結果】

応募団体数 2団体（いずれも市内社会福祉法人）

2) 地域密着型介護老人福祉施設（入所定員29人以下の（小規模）特別養護老人ホーム）

【募集内容】

整備量：1施設（ユニット型個室29床）

整備形態：新設

開設予定年度：平成31年度

【応募結果】

応募団体数 1団体（市内社会福祉法人）

3) 認知症対応型共同生活介護施設（認知症高齢者向け共同生活住居（グループホーム））

【募集内容】

整備量：1施設（2ユニット18床）

整備形態：新設

開設予定年度：平成31年度

【応募結果】

応募団体数 0団体

4) 小規模多機能型居宅介護施設（「通い」、「宿泊」「訪問」を組み合わせて行う在宅サービス事業所）

整備量：1施設（登録定員29人）

整備形態：新設

開設予定年度：平成31年度

【応募結果】

応募団体数 2団体（市内法人、市内医療法人）

（事務局）応募条件に対していずれも適正を確認した。

議題2 第7期介護保険事業計画における施設等基盤整備について

②開設予定事業者の選考方法及びスケジュールについて

事務局より説明

1) 開設予定事業者の選考方法

選考について、四国中央市介護保険条例施行規則の規定に基づき、介護保険運営協議会のうち、「被保険者を代表する委員」及び「学識経験を有する委員」（全8名）により校正する選考委員会による選考及び介護保険運営協議会による答申を経て決定。

※ 選考委員会に係る詳細については、運営協議会終了後、選考委員会事前説明会を開催し、詳細説明の予定。

2) 選考等スケジュール

今後の概ねのスケジュールについて

平成31年1月下旬～2月上旬頃 選考委員会

平成31年2月中旬頃 第3回介護保険運営協議会（結果報告、諮問等）

平成31年3月 開設予定事業者の決定・通知

（委員）2つの応募がある事業者を1つに絞るとのことか。

（事務局）2つの応募がある事業者を1つに絞るとのこともあるが、いずれについても（1つしか応募がない場合も）公募要綱内にあります評価基準の6割を満たさない事業者については、開設事業者として適切でないということがありますので、1つであっても開設事業者として適切であるか選考委員会においてご審議いただくこととしています。

（事務局）2団体応募のある施設について、評価委員の点数の合計がまったく同点だったときの選考方法について、ご審議をお願いいたします。

まったくの同点だった場合には、最高点数と最低点数を除いた中央の6名の点数が高いほうを採用する方法についてご提案させていただきますが、いかがでしょうか。

（委員賛同）

議題3 第7期介護保険事業計画における施設等基盤整備について

③応募がなかった施設に係る今後の取扱いについて

（事務局）

第7期介護保険事業計画初年度であることから、再公募を前提として考えているが、同じ条件での再公募では応募がない可能性がありますので、他市・他県の公募状況なども研究させていただき、平成31年度運営協議会において公募内容を再提案させていただく方向でよいかご審議願います。

（委員）

グループホームは3対1の人員基準も厳しく、また特養に比べて介護報酬は高くない。

現在のユニットを増やしたとしても、ユニットごとに人員基準を満たさねばならず、既存グループホームがユニット増するとしても手を上げる事業者があるかどうか。厳しいのではないかと。

（事務局）

厳しいという状況がわかった。引き続き、他市・他県の情報も含めて、どのような方法があるか、応募条件、再公募について研究したい。

議題4 その他

（事務局）

要介護認定者については増加している。また、介護サービス事業所についても、医療から介護への転換なども含めて増加している。しかし、サービス費については当初の見込み、昨年度に比べても、伸びていない。

これらの要因について、一つは、要介護認定者の軽度化が少し見られるように思うが、これをもってサービス費が伸びていないのかと疑問に思うこともあり、委員の皆さまのご意見をお聞かせ願いたい。

また、通所リハビリテーションの事業所の効果についてはどうか。

(委員)

(通常・大規模) 通所介護の介護報酬が細分化され、報酬が下がっているのも要因の一つではないかと思う。

通所リハビリの効果として、1割くらいの方は元気になっているように感じる。突然入所という方もいるが。

認定についても軽度化しているということは感じる。

(事務局)

認定調査の結果が、全国平均と比べて特定の項目が突出して低いとか高いということのないように、適正な認定調査が行われるよう要介護認定の平準化を目指している結果があるのかもしれない。今後、さらに研究したい。

閉会